

県内で BVD の PI 牛が摘発されました！！

牛ウイルス性下痢（BVD）は、BVD ウイルスが原因の感染症で、発熱、下痢、呼吸器症状など風邪のような症状を示すことがある病気です。また、妊娠牛が感染すると、流産、死産を引き起こしたり、奇形子牛、持続感染牛（PI 牛）を産むことがあります。

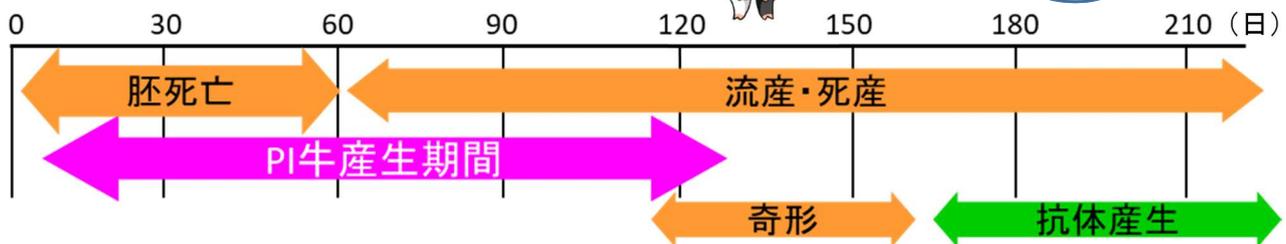
～PI 牛とは～

妊娠 18 日～125 日の母牛が BVD ウイルスに感染すると胎児も感染してしまいます。その場合、免疫機能が未熟な胎児は、ウイルスを自分の体の一部と誤ってしまい、そのまま産まれてきます。こういった牛を PI 牛と呼び、ウイルスを大量にまき散らし、農場内の感染拡大の原因となります。PI 牛自身も発育不良などの症状を示すこともありますが、外見上異常がないこともあります。



写真：持続感染牛
農研機構 動物衛生研究部門
家畜の監視伝染病から抜粋

～感染時の胎齢とその影響～



私はどうだったかな…



元気に見えても実はPI牛かも…！！

～本病への対応～

まずは

★飼養衛生管理基準の遵守をお願いします

例えば…

- ・ 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ・ 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置及び使用
- ・ 家畜を導入する際の健康観察



導入牛や預託帰りの牛の健康状態をよく確認し、その間、隔離牛房で飼養するなどほかの牛との接触を避ける

病原体を農場に入れない！

・ 記録の作成及び保管

農場に入った者や導入した牛の頭数や導入元の農場名、流産した牛や日などの記録し、保管しておく

記憶だけでなく記録しておくと、疾病発生時に
早期に感染経路がわかり、適切な対応ができます！

- ・ 獣医師等の健康管理指導
- ・ 流産が増えた等の異状があれば獣医師または家保へ通報

早期発見・早期摘発！

- ◆ 感染予防のためのワクチン
- ◆ 必要に応じて導入牛および妊娠導入牛の出生子の検査

病原体は入れない！！広げない！！

自分の農場を守れるのは自分自身です！！

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

電話 0463-58-0152 ファクシミリ 0463-58-5679